



文庫八事山

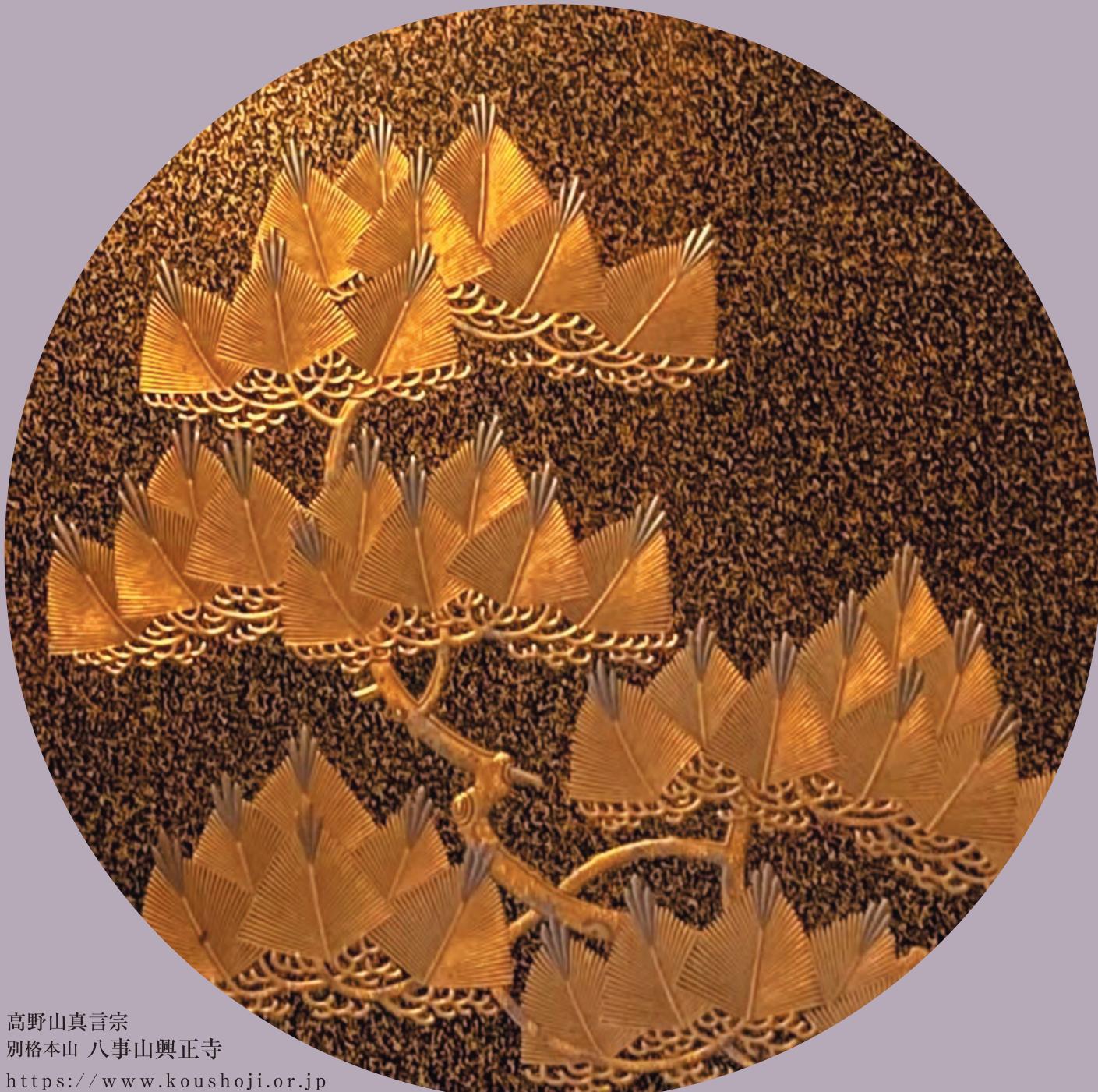
2021・冬

初詣/節分厄除・星祭御札祈祷会

令和3年(2021)11月 [寺報・年4回発行]

発行所 高野山真言宗 別格本山 八事山興正寺

ことほぎ



高野山真言宗
別格本山 八事山興正寺

<https://www.koushoji.or.jp>
TEL 052-832-2801 FAX 052-832-8383

ことほぎ

〈ことほぎ〉を漢字で書くと「言祝」「言寿」となる。言葉による祝福という意であり、新年などに古くから用いられてきた。ここで指摘しておきたいのは、祝福が言葉に依るということである。古代の人々にとって、言葉は単なる伝達手段やツールなどというものではなかつた。言葉には神仏に通じる不思議な靈感が宿っていると享けとめられてきたのであり、祝詞も又その例である。

興正寺は、弘法大師(空海)によって開かれた真言密教に系譜する寺だが、その〈真言〉とは神仏に通じる神秘の言葉であり、梵語(古代インドの言語)のマントラ(mantra)と言う語を漢訳した仏教用語である。

空海の著書『般若心經

秘鍵』に次の件がある。

「真言は不思議なり觀

誦すれば無明を除く一字

に千理を含み 即身に

法如を証す」

(真言は、神秘世界に通じ、響き合う不思議な力を持つていて。一字に多くの原理を含んでいるから信念をもつてお唱えすれば、必ず救われる。)

少し時代が下ると、仮名混じり文、和歌文学の時代に入り女性文化人の活躍が目立つようになる。

「花をのみ 待つらん人に山里の 雪間の草の春を

見せばや」『壬二集』

女性の優しくも美しい仕草とおやかさ、それに心の奥に秘めたきらりと光る女心が行間にしのばれる。中世は大和撫子登場の時代でもあった。

室町時代の名僧と言えば、一休禪師が挙げられよう。どんち一休さんとして童話、漫画でも馴染みが深いし、子供達にも人気がある。

「正月や 冥土の旅の一里塚 目出度くもあり

目出度くもなし」一休

長い棒の先にしゃれこうべを掲げて、京の街中を闊歩したというのだから中々のインパクトではあつただろう。「ことほぎ」の言葉表現も硬軟入り混じつての豊かさを伝えている。和文化も奥が深い。

にしぶ ほうじょう
住職 西部法照

岐阜にある法福寺の住職を継いだ後、1998年に渡米。「シアトル高野山仏教会」主任開教師に就任。その後、レドモンド市郊外にシアトル神護寺を開山、住職を10年に亘り務める。帰国後引退し、2018年9月より興正寺の住職に就任。



めでたし、初七日

歳神様の依り代、根曳き松。

お正月には、お迎えする歳神様の
目印になるように松を飾ります。

門松の原型とも言われる松飾りです。



書初め

日本の伝統的な行事「書初め」は、正月の二日目に
に行われます。そのルーツは平安時代まで遡り、
一月一日の年初めに汲んだ若水を神棚に飾り、
その水を使って墨をすり、新年の縁起のよい方
角（恵方）に向かって祝賀や詩歌を書いたことに
よるともいわれます。
新年を迎える新たな気持ちを認めましょう。

皆さまの書初めは境内に奉納掲示をいたします
す。(返却可)



上／招福の「飾り絵」色紙
右／書初め

新春特別呈茶

竹翠亭のお抹茶と新春菓子でお正月を祝う慣習
にしてくださるご家族が増え、大変うれしく
思っています。

日程一月一日～五日。時間一十時～十六時(最終
受付十五時半)。場所竹翠亭。拝観料五百円。
※コロナウイルス感染防止対策で、予約優先で
す。ご予約がない場合、お入りいただけないこ
とがあります。

新年の室礼

新年の訪問は、心を浮き立たせてくれます。
「本年が良い年であるよう」とのお願いと、
新しい一年への決意を室礼に託します。

日程一月一日～十三日。場所竹翠亭。
※普門園拝観五百円(呈茶付・予約優先)でご覧
いただけます。



普門園拝観予約
電話 052-832-2801
WEB→



新年干支巡り
色紙に朱印を押しながら境内のお堂を巡り、
十二支の守り本尊にお参りをします。
日程一月五日・十二日。時間一十時～十二時
頃。集合西山本堂入口付近。

一 奉納料 千円

世相等により掲載の予定(参拝方法含)は
中止変更となる場合があります。

個性豊かな七福神

足利時代末期頃より行われしものとされ、之を七福となせるは。仁王般若波羅蜜経巻下受持品に『七難即滅・七福即生』と説けるに基けるものとされていります。

特に新春に巡拝すると
『七難即滅 七福即生』とされる
七福神のお参りは、
日本各地で行わっています。

町歩きがてら、

一日で縁起巡り



◆ おすすめの巡り方

巡り方は自由なので、数日かけても構いません。1日で巡る場合は、夕方には納経が閉まることが多いので昼頃までには前半の四ヶ寺の参拝を済ませると良いです。

宝珠院 → 辭天寺 → 笠寺觀音 → 興正寺 →
福生院 → 萬福院 → 大須觀音

ご朱印を戴ける大色紙や三つ折り色紙は各寺院で授与されており、縁起物として一年間飾る方も多いそう。(奉納料 各1,500円)

※行事や混雑時などのさい、手書き朱印や大色紙の対応をお受けしかねる場合がありますのでご了承ください。



要予約

一二月三日 今和四年一月五日

締切は希望日の前日正午まで。
予約は、電話は052-832-2801
来寺は圓照堂・納経所。

七つの福德

〔仁王般若波羅蜜經卷下受持品〕では、一に日月難、二に星宿難、三に衆火難、四に時節難、五に悪風難、六に亢陽難、七に惡賊難。(太陽・星の異変、風害、水害、火災、旱害、盜難)とされます。この七難を滅すれば、七福が生じるとされます。

七つの福德

除夜の鐘
日程——十二月三十一日二十三時。場所——觀音堂。申込——当日。志納——百円より(護摩木一本含)。

A traditional Korean ritual scene. In the center, a bright orange flame burns on a small, square stone hearth. To the left, several tall, thin incense sticks stand upright in a holder. Behind the flames, a large, glowing yellow paper lantern hangs from a chain. The background is dark, with more lanterns visible in the distance, creating a warm, atmospheric glow.

※世相等により掲載の予定(参拝方法含)は中止変更となる場合があります

五色の鬼



春のはじまり 興正寺で 迎える節分



節分の室礼



節分祭の支度風景



想耕茶会「福豆茶席」

節分の室礼

節分は二十四節気の大晦日に対し、長く寒い冬から春のきざしを感じ始める分岐点です。豆飾りなど邪氣払いの室礼をいたします。参拝の折には、ぜひお立ち寄りください。

日 程 一月二十六日～二月三日
場 所 竹翠亭

※普門園拝観五百円(呈茶付・予約優先)でご覧いただけます

想耕茶会「福豆茶席」

節分の日だけに行う特別な煎茶席です。ほうじ茶釜の中でおいしく煮えた福豆を参加する方ご自身でくついていただきます。邪魔をする鬼に悪戦苦闘しながら、皆で美味しい福を呼ぶ楽しいお席です。お茶の経験がなくても大丈夫です。

日 程 二月三日
場 所 竹翠亭
時 間 十時・十一時・十三時・十四時
申込 参加費 千五百円
先行予約(公式サイト)
十二月二日十時から
電話・来寺予約

十二月三日十時から



2月3日の欄をご確認ください

「鬼」の体はどんな色ですか?
改めて問われると悩んでしまいます。
赤鬼 貪欲
青鬼 怒り・貧相
黄鬼 不健康
黒鬼 愚痴
緑鬼 我執
五色の鬼 それぞれ人間の煩惱の種類を表していると
いう説も。

十干十二支

十干は古代中国で考えられた思想を基に、陰陽・五行説などと深く結びています。十干はその名通り十種類の要素(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)から成り立っています。

令和四年は壬寅、酉方は北北西です。

くようせい 九曜星	らごうせい 羅喉星	どようせい 土曜星	すいようせい 水曜星	きんようせい 金曜星	にちようせい 日曜星	かようせい 火曜星	けいとせい 計都星	いげつようせい 月曜星	もくようせい 木曜星
吉凶	大凶	半吉	末吉	半吉	大吉	大凶	大凶	大吉	大吉
きゆうせい 九星	ごおうせい 五黄土星	ろっぽくきんせい 六白金星	しちせききんせい 七赤金星	はっぽくどせい 八白土星	きゅうしきかせい 九紫火星	いっぽくすいせい 一白水星	じこくどせい 二黑土星	さんべきもくせい 三碧木星	しろくもくせい 四綠木星
令4年/2022	令3年/2021	令2年/2020	令1年/2019	平30年/2018	平29年/2017	平28年/2016	平27年/2015	平26年/2014	
1 どら	2 うし	3 ねずみ	4 いのしし	5 いぬ	6 とり	7 さる	8 ひつじ	9 うま	
平25年/2013	平24年/2012	平23年/2011	平22年/2010	平21年/2009	平20年/2008	平19年/2007	平18年/2006	平17年/2005	
10 へび	11 たつ	12 うさぎ	13 どら	14 うし	15 ねずみ	16 いのしし	17 いぬ	18 とり	
平16年/2004	平15年/2003	平14年/2002	平13年/2001	平12年/2000	平11年/1999	平10年/1998	平9年/1997	平8年/1996	
19 さる	20 ひつじ	21 うま	22 へび	23 たつ	24 うさぎ	25 どら	26 うし	27 ねずみ	
平7年/1995	平6年/1994	平5年/1993	平4年/1992	平3年/1991	平2年/1990	平1年/1989	昭63年/1988	昭62年/1987	
28 いのしし	29 いぬ	30 とり	31 さる	32 ひつじ	33 うま	34 へび	35 たつ	36 うさぎ	
昭61年/1986	昭60年/1985	昭59年/1984	昭58年/1983	昭57年/1982	昭56年/1981	昭55年/1980	昭54年/1979	昭53年/1978	
37 どら	38 うし	39 ねズみ	40 いのしし	41 いぬ	42 とり	43 さる	44 ひつじ	45 うま	
昭52年/1977	昭51年/1976	昭50年/1975	昭49年/1974	昭48年/1973	昭47年/1972	昭46年/1971	昭45年/1970	昭44年/1969	
46 へび	47 たつ	48 うさぎ	49 どら	50 うし	51 ねズみ	52 いのしし	53 いぬ	54 とり	
昭43年/1968	昭42年/1967	昭41年/1966	昭40年/1965	昭39年/1964	昭38年/1963	昭37年/1962	昭36年/1961	昭35年/1960	
55 さる	56 ひつじ	57 うま	58 へび	59 たつ	60 うさぎ	61 どら	62 うし	63 ねズみ	
昭34年/1959	昭33年/1958	昭32年/1957	昭31年/1956	昭30年/1955	昭29年/1954	昭28年/1953	昭27年/1952	昭26年/1951	
64 いのしし	65 いぬ	66 とり	67 さる	68 ひつじ	69 うま	70 へび	71 たつ	72 うさぎ	
昭25年/1950	昭24年/1949	昭23年/1948	昭22年/1947	昭21年/1946	昭20年/1945	昭19年/1944	昭18年/1943	昭17年/1942	
73 どら	74 うし	75 ねズみ	76 いのしし	77 いぬ	78 とり	79 さる	80 ひつじ	81 うま	
昭16年/1941	昭15年/1940	昭14年/1939	昭13年/1938	昭12年/1937	昭11年/1936	昭10年/1935	昭9年/1934	昭8年/1933	
82 へび	83 たつ	84 うさぎ	85 どら	86 うし	87 ねズみ	88 いのしし	89 いぬ	90 とり	
昭7年/1932	昭6年/1931	昭5年/1930	昭4年/1929	昭3年/1928	昭2年/1927	大15年/1926	大14年/1925	大13年/1924	
91 さる	92 ひつじ	93 うま	94 へび	95 たつ	96 うさぎ	97 どら	98 うし	99 ねズみ	

令和四年 厄年・数え年表

厄年とは一生のうちで何らかの厄難に遭遇する恐れの多い年齢をいいます。

厄除けをするにあたり、一年の無事を願い御札に身代わりになっていただき、その災いを少しでも小さくすることができます。※真言宗では男女共通の厄として考えます。

赤字厄年：厄払い祈祷をおすすめします **特に注意** 大凶・体力低下を起こしやすい年齢なので要注意 **前厄** 本厄の前年で、注意が必要と言われています

年忌

1周忌 令和3年逝去 3回忌 令和2年逝去 7回忌 平成28年逝去 13回忌 平成22年逝去 17回忌 平成18年逝去

23回忌 平成12年逝去 27回忌 平成8年逝去 33回忌 平成2年逝去 50回忌 昭和48年逝去 100回忌 大正12年逝去



星祭御札加持の風景



節分厄除祈祷会

日程
二月三日
受渡し
二月五日～三月五日、九時～十時、於
山本堂。祈祷料一千円より。

星祭開運祈祷札
特別木札
紙札 500円より

木札
大木札 5,000円より
中木札 3,000円より
小木札 1,000円より

ご加護
裏面
諸曜総咒
(3万円特別木札のみ)
当年属星



星祭開運祈祷札

紙札

紙札 500円より

木札

大木札 5,000円より
中木札 3,000円より
小木札 1,000円より

特別木札(1万円・3万円)には、ご本人の当年属星(当年九曜星)を記し、西山本堂内に1年間お名前をあげさせていただきます。

※御札の大小に関わらず、施主名が書きされます。

郵送の場合

受付方法 払込み
締切 節分、星祭共に1月25日
手順 申込書に記入、返信封筒で返送。祈祷料は郵便局より払込。

来寺の場合

受付方法 現金のお納め
締切 節分/2月3日(当日) 星祭/1月31日
手順 納経所にて申込用紙と祈祷料をお納めください。(8時~17時)

※祈祷料は表記を目安にご自身のお気持ちのよいところでお納めください。※電話受付は致しかねます。
※世相等により掲載の予定(参拝方法含)は中止変更となる場合があります。

興正寺所蔵品の出展

興正寺所蔵の丹羽嘉言「松下人物図」を出展いたします。
お誘い合わせの上、お運びください。

名古屋市博物館

特別展「大雅と蕪村——文人画の大成者」

江戸時代の中頃に活躍した文人画家・池大雅（1723～76）と与謝蕪村（1716～83）。その2人が競演した国宝『十便十宣図』（川端康成記念会蔵）は、かつて鳴海宿（現名古屋市緑区）の豪商が所蔵していました。本展覧会は、『十便十宣図』誕生から250年を記念して、名古屋の地で大雅と蕪村による文人画の名品を紹介します。

会期 十二月四日～一月三十日

読者プレゼント

ご招待券を進呈いたします。
ハガキに住所・氏名・年齢・今号で特に印象に残った記事と
その感想をお書き添えの上ご応募ください。(12月5日必着)
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒466-0825 愛知県名古屋市昭和区八事本町78 八事山興正寺
特別展「大雅と蕪村」招待券プレゼント係



与謝蕪村『十宣図』より「宜夏図」
川端康成記念会蔵
当該場面の展示期間
12/9～12/14



丹羽嘉言「松下人物図」
八事山興正寺蔵
展示期間 12/4～1/30

十一月

インド仏教の今——インド・日本 それぞれの僧侶が見る世界——

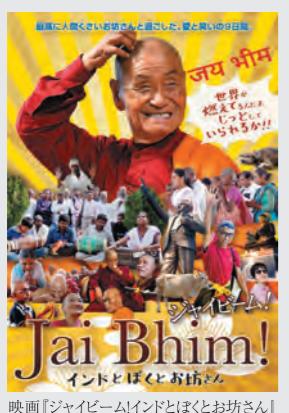
二十三日

インドで活動する僧侶 竜龜師をお招きし、時 間 第一部 上映鑑賞
興正寺僧侶との対談講演をお届けします。

一億人以上ともいわれるインド仏教徒を率いる僧侶 佐々井秀嶺上人。日経ビジネス『世界を動かす日本人50』にも紹介される佐々井上人を師として活動している竜龜師が日本に一時帰国されました。

インドと日本、異なる文化で活動する僧侶が見れる世界を観じてください。

当日の第一部では、豪快でお茶目な日々を記録した密着ドキュメンタリー映画『ジャイ・ビーム! インドとぼくとお坊さん』を上映。撮影秘話も楽しみなこの機会に、「仏教って何?」という十代からミドル世代の方も、気軽に参加ください。



映画『ジャイ・ビーム! インドとぼくとお坊さん』



佐々井秀嶺上人



竜龜師

一九七七年広島市生まれ。美大卒業後、広島市へ帰郷。二〇一六年、佐々井秀嶺上人の身の回りの世話をしないかと声をかけられインドへ。現地での活動や人柄に衝撃を受け、一週間後には出家を決意。現在、インド仏教僧侶として活動中。

日本を飛び出しインドに渡り半世紀以上、熱気溌々と土地で貧しい人々と共に仏教復興に身を捧げています。

世相等により掲載の予定(参拝方法含)は中止変更となる場合があります。最新情報のご確認は公式サイト・電話にてお願い致します。

二十六日～二月三日 節分の室礼

立春の前日の行事である節分は二十四節季では大晦日あたり、新しい年を迎える前に邪気払いをしました。「豆まき」はその名残です。参拝の折には、ぜひお立ち寄りください。

場所 竹翠亭
※普門園拝観五百円（星茶付・予約優先）でご覧いただけます

二月

桃の節句の室礼

二十三日～三月三日

旧暦の三月三日は桃の花が咲く頃です。身代わりとなる人形を海や川に流した祓いの儀式と平安時代に始まる人形遊び（ひいな遊び）が結びつき、現在の雛祭りとなりました。お子さまの健やかな成長を願い、ご家族でぜひどうぞ。



「芸処名古屋」クロニクル
八事夢講座

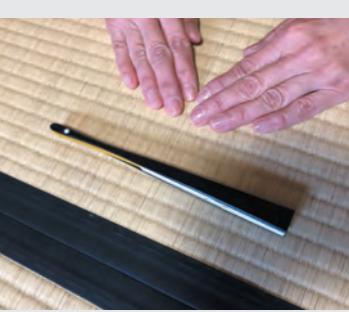
芸を教える人、習う人、支える人の三者が一体となり「芸処名古屋」の文化があります。その奥深い世界を安田文吉先生にご紹介いただきます。



申込	受講料	講師	日程
事前申込	公式サイト・電話・納経所にて 千円（当日）	安田文吉（東海学園大学客員教授）	十二月十五日 一月十九日
（開場は三十分前）			二月十六日
光明殿大ホール			十三時半～十五時半

書籍『芸処名古屋』
(講座テキスト)

マルシエ茶席
僧侶のお点前によるお茶席です。お気軽にどうぞ。
日時 毎月二十一日
十時半・十一時十分
十一時五十分
参加費 五百円（予約不要）
※コロナウイルス感染対策で
人数制限あり



初心者のためのお茶席体験
作法を知らない初めての方でも茶席を楽しむことができます。持ち物、服装、お席の入り方、お菓子やお抹茶のいただき方など、初心者の気持に添つて丁寧にお伝えするマルシエの日限定の特別枠です。
● 初心者のためのお茶席体験
講師 竹翠亭
日時 每月二十一日 十三時半
参加費 五百円（予約不要）
※コロナウイルス感染対策で 人数制限あり



言葉

仏教の戒律の中に十善戒というものがあります。その一つに「不悪口」といって、悪口や乱暴な言葉を使わないという約束事があります。戒律なので守らなければなりませんが、他にも人に悪口や乱暴な言葉を使ったときに、他人に使っているのか自身に使っているのかを脳が認識できず、自分自身にすごくストレスがたまるそうです。身体のことを考えても、やはり悪口や乱暴な言葉は控えた方がいいです。

では相手に悪口を言われてしまった時、どう対処するのがいいのか。こんな話があります。

ある男がお釈迦様をひどい言葉でののしりました。お釈迦様は一言も言い返すことなく、黙ってその男の悪態を聞いていました。男は、一方的に悪口を言い続けて疲れたのか、その場にへたりこんでしまいました。お釈迦様は、その男にたずねました。「もし他人に贈り物をしようとして、その相手が受け取らなかった時、その贈り物は一体誰のものだろうか」こう聞かれた男は、突っぱねるように言いました。

「そりや、言うまでもない。相手が受け取らなかったら贈ろうとした者のものだろう。わかりきったことを聞くな」男はそう答えてからすぐに、「あっ」と気づきました。

お釈迦様は静かにこう続けました。

「そうだよ。今、あなたは私のことをひどくののしった。でも、私はそのののしりを少しも受け取らなかった。だから、あなたが言ったことはすべて、あなたが受け取ることになるんだよ」

お釈迦様は相手からの悪い言葉は受け取らず、この人はそう思っているんだなと確認し受け流しました。私達も戒律を守り、自身を律することで心にゆとりができる相手からの悪い言葉を受け取らずに済むかもしれません。



懐かしのお正月遊び

大掃除に正月飾り、おせち作りと慌ただしい日々も除夜の鐘を聞く頃にはひと段落し、新たな年を迎える。季節感や習俗が薄れつつある現代でも、年が変わるのは特別なものです。皆さんは毎年どんなお正月を過ごされていますか。初詣に出かける方もあるが、寝正月という方、里帰りをして親戚一同勢ぞろいという家もあるでしょう。今でこそ、元日からお店を開き出かける先がありますが、私が子どもの頃は親戚が集い、大人はお膳とお酒で談笑し、子どもは久しぶりに会うないと

お正月の準備

12月13日は正月事始め。昔は大掃除などお正月準備を始める大事な日でした。近頃はクリスマスで盛り上がり、25日が過ぎると一気に年末年始を迎える雰囲気となり、あわてて正月支度をするのが常になってしまいました。

幼いころ両親は仕事で忙しかったので、年越しまで1週間をきると兄弟3人で町の辻に立った歳の市にお正月飾りを買いに出かけました。門松、しめ縄に加え、舞玉飾りの材料を買い家に戻ると、さっそくもなか玉や縁起物を枝に飾りつけるのが子供の仕事でした。それを父が神棚に結えて出来上がり。色とりどりのもなか玉を見上げ、子供心にも新しい年が来るんだなと気持ちを整えた思い出があります。

正月飾りを31日に飾りつけをするのは一夜飾りといつて嫌われます。29日も苦にながるので避けると、必然的に28日か30日に飾ることになります。内も外もきれいに掃き清めてお供えもすんだら安心して年神さまをお迎えできます。さあ、子供たちと一緒にできるお正月準備は何でしょうね。

竹翠亭の行事

マルシェ茶席

初心者のためのお茶席体験

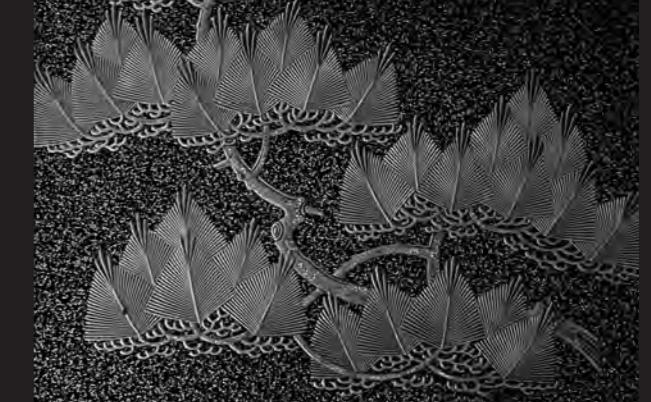
◆◆◆◆◆興正寺月釜想耕茶会

季節の室札(新年、節分、桃の室札)

竹翠亭を含む普門園拝観は予約制、電話や公式サイトよりご予約いただけます。
※詳細は十一～十五頁。

舞玉飾りセット 限定数／500円 竹翠亭にて

興正寺で
出会える、
日本に息づく
おもしろみ。



祝いのコトバ

冬号のテーマである「ことほぎ」は「寿ぎ」または「言祝ぎ」と表し、言葉で祝うことをいいます。祝いの言葉としてまず思い浮かぶのは、慶事に使われる「おめでとうございます」です。お正月には「あけましておめでとうございます」とあちらこちらで耳にし、自身でも何度も口にします。言葉として発することで感謝や喜びの気持ちが強まり、「現実として引き寄せる」言霊としての力をもつのです。

また、めでたい事を引き寄せるために前もって祝う「予祝」というものがあります。作物の豊穣や大漁を願う祭礼、末永い夫婦円

魅力のカタチ
KATACHI

コトバとカタチ

祝いのカタチ

さて、ことほぎを表すのは言葉だけではありません。形として表されることもあります。松はその代表で、禅語の「青松多寿色」では、季節や年月を重ねても青々と鮮やかな松の姿は色褪せぬ心の象徴であるとしており、ことほぎの飾りや道具の意匠によく見られます。お正月に飾られる門松や松飾りは、神様を迎える道しるべであり依代です。これは古来より木に神が宿るという考え方からきており、中でも松は神を「待つ」「祀る」とかけて神聖なものとされてきました。

梨地に伸び伸びとした若松が配されたこの硯箱も、縁起の良い松を描くことで長寿や家門繁栄への願いがこめられているのです。

まつまえすずりばこ
松蒔絵硯箱

満を願う婚礼など、祝いの儀式がそれにあたります。多くの人が集い、祝いの言葉を唱えることで願いを現実のものとするのです。

集」を読み解きます。
仏典（仏教典籍）とは仏教における權威ある書物のこと。平安時代に書かれた地獄・極楽を詳しく説いた『往生要

仏典読み解き講座
御詠歌入門講座
金剛流御詠歌の入門講座。作法や符の読み方からはじめます。入門編に触れた後には、初級・上級講座も。

予約は公式サイトの利用が便利です。



講座名	時間	場所	講師	開講日 11月～2月	支具料	申込	備考
阿息観(瞑想・密教禪)							
阿息観	14時～16時	-	杉浦宣秀僧侶	毎月10・20・30日 (12/30除く)	無	不要	座禅が組める服装
遊翠の心 阿息観	10時～12時 14時～16時	竹翠亭	西山海良僧侶	11/23・12/28 1/25・2/22	1,500円	要	座禅が組める服装
写経							
写経写仏はじめて講座	11時～14時 (法話13時)	光明殿	辯田英伸僧侶	毎月21日	1,000円	不要	時間内随時 初心者は11時より
遊翠の心 写経	10時～12時 14時～16時	竹翠亭	西山海良僧侶	11/9・12/14 1/11・2/15	1,500円	要	-
御詠歌入門講座	14時～16時	光明殿	鈴村智弘僧侶	11/6・20・12/11・18 1/8・15・2/6・19	無	不要	-
仏典読み解き講座	10時～12時	普照殿	辯田英伸僧侶	11/18・12/24 1/18・2/18	無	要	④筆記用具
遊翠の心 水墨画	14時～16時	竹翠亭	山田静舟	11/19・12/10 1/28・2/18	2,000円	要	-
遊翠の心 きもの装い	初級10時～12時 応用13時～15時	竹翠亭	竹翠亭	11/3・10・12/1・8 1/12・19・2/9・16	2,000円	要	4月開始年間講座
遊翠の心 茶の古典を読む	10時～12時	竹翠亭	辯田英伸僧侶	11/4・12/9 1/6・2/10	1,500円	要	④筆記用具
和文化体験 いけばな	13時半～15時	-	華道高野山講師 小林弘子・平野裕子	11/18・12/16 1/20・2/17	3,000円	要	花材代含む ④花ばさみ・花合羽
遊翠の心 茶の扉(全3回)	10時～12時 14時～16時	竹翠亭	竹翠亭	秋 10/27・11/24・12/22	6,000円 (3回分)	要	申込開始WEB9/510時 電話・来寺夏5/28・秋8/2710時
子ども寺子屋くらぶ	10時～12時 13時半～15時半	竹翠亭	竹翠亭	11/6	1,500円	要	申込開始WEB9/510時 電話・来寺9/610時
一日修養会	10時～14時	光明殿	辯田英伸僧侶	12/11	2,000円	要	昼食代含む ④筆記用具
TERA-YOGA	10時～11時半 13時～14時半	観音堂	西口のぞみ	毎月21日	2,000円	要	-

※④=持ち物 ※「遊翠の心」支具料は講座後の呈茶含む ※場所変更は当日境内掲示でご確認ください

仏典読み解き講座

金剛流御詠歌の入門講座。作法や符の読み方からはじめます。入門編に触れた後には、初級・上級講座も。



写経

修行のひとつとされる「写経」。一字一文字を写すことだけに集中いたします。ひと筆ずつ文字をし、たためる時間の中で、自身の中を見つめましょう。



阿息観

密教の修行法として説かれ、瞑想法で、僧侶が心を整えるために呼吸方法から座り方など基本動作を学びます。



Chapter 7 ジャパニーズ・愛 JAPANESE EYE

縁起担ぎ

触れ合った物事からどんどん良い方へ進んでいくのが「縁起が良い」、悪い方へ進んでいくのが「縁起が悪い」ということ。日本人は何かひとつ嫌なことがあると、それを「縁」としてどんどん悪いことが続いてしまうことを「縁起が悪い」と呼び警戒します。そしてその負の連鎖を断ち切るわざこそが、「縁起を担ぐ」！

招き猫や縁起だるま。福筒に破魔矢。正月に寺社で授かる「縁起物」は、新年の始まりから「良い縁起」を目指しで連れて来てくれる、ラッキーアイテムたちなのです。嫌なことには目をつむり、良いことをどんどん呼び込むべく「縁起の良いもの」をどんどん持ち出し、担ぎ上げる。何というしたかさ、何という、おおらかなユーモア！日本人お得意の「和魂洋才」「和魂漢才」—— 様々な文化の良いところだけをどんどん取り入れたしたかさは、「縁起担ぎ」を楽しむおおらかなユーモアが源なのかもしれません。

「こいつア春から縁起がいいや。」
お正月になると、日本人は「縁起を担いで」何かにつけて「あら、めでたい。こら、めでたい」と喜びます。「縁起担ぎ」とは、新しい物事を始める際に「縁起を良くすること」つまり運気を上げることを意味します。「担ぐ」とは重い荷物などを肩に載せること。日本のお祭りの時に神様が外遊のために乗る「お神輿」を肩に載せるイメージに繋がります。「悪い縁起」も持ち上げて、楽しく担ぎ上げ祀り上げて「良い縁起」に変えてしまおうという逞しさが潜んでいる…

では、肝心の「縁起」とは？これは実は、仏教語なのです。「縁」とは物事の「ふち」。一番はしっこ、外側。それは、また別の物事との接点でもあります。全ての存在は全て「ふち」を通して繋がっている。そしてそこから、絶えず新しい何かが「起こる」「始まる」。「縁起」とは〈全ての物事は関連し合い、影響し合って、どんどん変化が起こる〉ということ。

“Carrying the EN-GI” (Superstitions)

“This one's been giving good “EN-GI 縁起” (lit. “luck”) since spring.”

During New Year's, Japanese people tend to “carry the EN-GI” (lit. “be superstitious”) and rejoice at every opportunity. In this case, “carrying the EN-GI” means improving “good EN-GI” (lit. “good fortunes”) before starting something new. In other words, increasing luck. The Japanese phrase translates to “carrying the EN-GI,” and can be associated with parishioners carrying portable shrines housing the deities on their shoulders during festivals. The idea is to carry the bad EN-GI joyfully and enshrine it to turn it into good EN-GI. What, then, is the key word “EN-GI”? It is actually a Buddhist term. The “EN 縁” in “EN-GI 縁起” refers to the borders of

things. It is the outermost edge, which means it is also the point of contact with other things. Everything that exists is connected through those edges “縁”. And it is through those edges “縁” that new things occur or begin “起”. In essence, the word “EN-GI 縁起” can be defined as a concept in which all things are related to and affect one another, leading to constant change. Good “EN-GI,” then, is when things that come into contact move towards a positive direction, while bad “EN-GI” is when they move in the opposite direction. Whenever something bad happens,

Japanese people are good at “WA-KON YO-SAI 和魂洋才 (Japanese spirit and Western wisdom)” and “WA-KON KAN-SAI 和魂漢才 (Japanese spirit and Chinese wisdom)”. Their formidability to take in the best parts of various cultures may come from their generous sense of humor to enjoy “carrying the EN-GI”!

MANEKI-NEKO (beckoning cat), EN-GI DARUMA (red-painted good-luck doll in the shape of Bodhidharma monk), FUKU-MI (lucky winnower) and

HAMA-YA (ceremonial arrow used to drive off evil) are all examples of “EN-GI MONO (lit. “lucky charms”)” given at temples and shrines on New Year as lucky items that will bring good “EN-GI” from the start of the New Year.

Turning a blind eye to the bad things brings out and carries more and more good “EN-GI” to bring in more and more good things. What cleverness, what generous humor!

Japanese people are good at “WA-KON YO-SAI 和魂洋才 (Japanese spirit and Western wisdom)” and “WA-KON KAN-SAI 和魂漢才 (Japanese spirit and Chinese wisdom)”. Their formidability to take in the best parts of various cultures may come from their generous sense of humor to enjoy “carrying the EN-GI”.

仏教を通じ 心のあり方を見つめる

企業研修 社会福祉法人名古屋ライトハウス

七月十六日、八月二十日の二回にわたり、私ども法人の若手職員の研修会として、食事作法、茶の湯、阿息観、講話など普段とは違う空間と時間の中での経験となりました。対人援助が中心となる私どもの仕事は、冷静に自分や周りを見つめることや、利用者の状況に応じて臨機応変に対応する力が求められます。異なる視点から課題を見つめたり、自己と向き合う良い機会となり、若手職員にとって貴重な研修となりました。(文・写真 社会福祉法人名古屋ライトハウス)



観音堂九万九千日

観音堂にて九万九千日法会が執り行われました。本年はコロナ禍の為、三密回避の対応での法会となりました。

また九万九千日法会に合わせて、のぼり幡奉納祈願をお勤め致しました。皆さまのおかげを持ちまして、無事に九万九千日法会が終了いたしました。

(八月十日)



中部学院大学「岐阜・生と死を考える会」

中部学院大学各務原キャンパスにおいて表記の公開講座が開催され興正寺住職が講演をしました。仏教・密教の考え方と和文化を軸に据えながら日本人における生と死のつ



子ども寺子屋くらぶ「夏」

ながら、先祖とのつながり、他者、あるいは他の生き物とのつながり、宇宙的生命とのつながりについて独自切り口で語りました。大学関係者も含め六十名程が熱心に聴講されて好評でした。(九月十一日)

文化を伝える



自然を遺し、紡ぐ 興正寺夏の親子体験講座 「お寺で生きものを見つけて友だちになろう」

ながり、先祖とのつながり、他者、あるいは他の生き物とのつながり、宇宙的生命とのつながりについて独自の切り口で語りました。大学関係者も含め六十名程が熱心に聴講されて好評でした。(九月十一日)

ながら、先祖とのつながり、他者、あるいは他の生き物とのつながり、宇宙的生命とのつながりについて独自の切り口で語りました。大学関係者も含め六十名程が熱心に聴講されて好評でした。(九月十一日)

ながら、先祖とのつながり、他者、あるいは他の生き物とのつながり、宇宙的生命とのつながりについて独自の切り口で語りました。大学関係者も含め六十名程が熱心に聴講されて好評でした。(九月十一日)

ながら、先祖とのつながり、他者、あるいは他の生き物とのつながり、宇宙的生命とのつながりについて独自の切り口で語りました。大学関係者も含め六十名程が熱心に聴講されて好評でした。(九月十一日)

八事本町クラブ



取材・掲載

- 書籍『御朱印でめぐる東海のお寺』
- キラッ都ナゴヤ
- 月刊なごや
- The Sakae Times
- Risa
- タウンニュースんぱく
- Web Design Clip
- 日本政府観光局(JNTO)
- まるごとやごと
- なごやパレット

他

協賛など

- 市内児童施設等へおさがりのお福分け
- 外貨寄付(ユーロ外貨コイン募金)
- 高野山真言宗第三地域伝道団会議
- 八事学区子ども会ソフトボール大会
- いりなか商店街発展会
- MAGIC WALK
- ダンスチーム
- 真どまつり
- kagura
- 松井健斗／七月三日

会合

- 高野山真言宗第三地域伝道団会議
- なごや二十二大師靈場会総会
- いりなか商店街発展会

施設利用

- 中京大学茶道部通常練習
- ボーカル名古屋第一団

講習参加

観光庁セミナー



YouTube 愛謹-AiUTA-」テレビまつりVer.



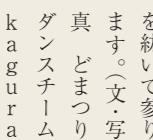
第三十二回 愛知サマーセミナー

興正寺からの愛知サマーセミナーへの出講は今回で五回目になりました。去年と同様「仏教絵解き」がたりポップアートを厳重に実施しての公開講座でしたが、創作の掛軸を掛けた絵解きがたりに参加なさった皆様は楽しく聞きました。(七月十八日)

地域活動



また、今回の講師はなごや生物多様性保全活動協議会に所属する専門家です。本年度は、何回かに分けて興正寺公園および境内で植物の種類の特定や樹木のサイズの計測など植物調査、秋には生き物調査が行われました。名古屋の街中で豊かな自然を有するこの八事の森を、大切に次世代に繋いでいきたいものです。(八月二十二日)



作品撮影「kagura」



私たちkaguraは「このコロナ禍だからこそ出来る事」として、芸どころ名古屋の礎を作ったとされる尾張七代藩主徳川宗春公を題材とした映像作品を制作致しました。その中で八事山興正寺様には宗春公所縁の地として撮影地提供にご協力を頂きました。美しい日本庭園(普門園)や国の重要文化財に指定される五重塔を舞台とした演舞を紹介して参ります。(文 写 真 どまつり ダンスチーム kagura 松井健斗／七月三日)

- 高野山真言宗第三地域伝道団会議
- なごや二十二大師靈場会総会
- いりなか商店街発展会
- MAGIC WALK
- ダンスチーム
- 真どまつり
- kagura
- 松井健斗／七月三日

会合

- 高野山真言宗第三地域伝道団会議
- なごや二十二大師靈場会総会
- いりなか商店街発展会

施設利用

- 中京大学茶道部通常練習
- ボーカル名古屋第一団

講習参加

観光庁セミナー



◆志納奉納ご芳名（順不同・敬称略）
加藤正明 一万元
關岡久子 三千円（大日堂）
三千円（弘法堂）
ありがとうございました。合掌

ほつくり ほくほく しあわせ暦ごはん

今回は、ほつくりとした食感が美味しい秋のむかごご飯です。

「むかご」は十月～十一月が旬の球芽で、ヤマイモの葉の付け根にできる球状の芽です。じやがいものような見た目の、大豆より一回りほど大きな球体の野菜です。

『鬼滅の刃』の登場人物名にもなっている「零余子」は秋の季語でもあります。地域によつては「ぬかご」とも言うのだとか。

昔から親しまれる、懐かしいごはんです。

むかごご飯

材料(4人分)	
米	2合
もち米	1合
むかご	200g
塩	小さじ1
だし昆布	5cm

- つくり方
- ① 米、もち米は洗って30分ほど水に浸してザルに上げておく。
 - ② むかごは塩(分量外)もみしてよく洗う。
 - ③ 炊飯器に1を入れ、目盛りに合わせて水を入れ、塩を加えて混ぜ合わせ、だし昆布をのせて、2を散らして炊き上げる。



レシピ出典
食育ネットあいち(あいちの郷土料理レシピ50選)

つむぎたい心

ちゅんちゅん ちちち と小鳥の声に誘われ道脇に目を向けると、二羽の小鳥が押せや引けやの喧嘩の真最中。

人影に逃げるようすもない。

ちゅんちゅんの声は、二羽の周りで押せや引けやと見守る三羽の小鳥たち。兄弟だろうか、仲間だろうか。

どうやら、同じ種の仲間を見守り見守られ成長するのは、人間だけではないらしい。

匿名

投稿を募集します

皆さまのこぼれ話を紹介します。掲載者には普門園拝観券を進呈いたします。
200～400文字を目安にお送りください。写真のある場合は2L判まで。

①氏名②住所③電話番号④ベンネーム(無い場合は氏名掲載)を明記ください。

※写真の返却はいたしません。採否の問い合わせや回答はお受けいたしません。ご了承ください。

[送付先]
〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町78
「八事山文庫編集」係
メールは、info@koushoji.or.jp

永代供養墓・納骨堂 ご報告とお知らせ

開眼法要を勤めました

八月二十四日十時より佐羅陀淨苑
〔第二期〕開眼法要を厳修いたしました。
当日は多くの方にご列席いただきました。
誠にありがとうございました。
新設された花立てに献花いただき、
専用のろうそくを水盤に浮かべて
お参りいただきました。

圓照堂 骨壺変更について

このたび、圓照堂の舍利瓶落下破損防止の為、お出しする専用の骨壺を新たに用意する運びとなりました。
つきましては、申込者様のご希望を聞き順次ご案内と分骨させて頂きますので、何卒ご理解とご協力の程お願い致します。

永代供養墓・納骨堂のご相談は、隨時承っております。

永代祠堂	五十万円
永代供養付き納骨堂です。	繰り出し位牌などで一靈五十万円で追加できます。
一人用(先祖代々を含む)と夫婦の二種類があり、お骨を専用の骨壺に移し、専用の位牌と共に圓照堂にて納骨後三十二年間お預かりの後、合祀致します。	

永代祠堂	百五十万円
靈牌殿に位牌をお祀り致します。 個人を単位に、どなたでもお申込みいただけます。	一人用(先祖代々含む) 七十万円 夫婦用 百万円

令和四年カレンダーのお知らせ



毎年ご好評をいただいている「興正寺カレンダー」がポケットサイズになりました。ボケットに忍ばせて、自分だけのカレンダーに仕上げてくださいね。

※宗旨・宗派は問いません。但し、興正寺のみ法式に則りご供養いたします。

来寺・お電話にて、事前予約ください。
資料請求もお気軽に。
※宗旨・宗派は問いません。但し、興正寺のみ法式に則りご供養いたします。
※原則「天瑞いづみの会」に入会いただきます。

1月
[暦月]

1 土	先負 元日 修正会	初護摩祈祷会	書初め	新春特別呈茶	新年の室礼「竹翠亭」
2 日	仏滅				
3 月	赤口				
4 火	先勝				
5 水	友引 小寒 芹乃栄	縁日 大隨求明王 露 大般若經転読祈禱会 干支成満巡り			
6 木	先負	茶の古典を読む [遊翠の心]			
7 金	仏滅				
8 土	大安	縁日 大日如来			
9 日	赤口 戌の日	20世祥月 祥月忌合同供養会 (靈・圓・佐・遮・永経・永納)			
10 月	先勝 水泉動 成人の日	朱 成道会(旧暦12/8) 阿息観			
11 火	友引	写経 [遊翠の心]			
12 水	先負	きもの装い [遊翠の心]			
13 木	仏滅	縁日 虚空蔵菩薩 干支成満巡り			
14 金	大安	休 普門園	興正寺初釜		
15 土	赤口 雉始雛	縁日 阿弥陀如来	休 普門園		
16 日	先勝	祥月忌合同供養会(圓)			

※ 特別朱印授与あり 露店出店あり
干支成満巡り(受付10時納経所前・無料／朱印代別途)

御縁日 [毎月] | 5日 10時……大隨求明王 露 | 13日 10時……虚空蔵菩薩 露 | 18日 13時……觀世音菩薩 | 24日 13時……地蔵菩薩
8日 12時30分…大日如来 | 15日 13時……阿弥陀如来 | 21日 10時30分…弘法大師 露 | 28日 14時……不動明王

2月
[暦月]

1 火	先勝		節分の室礼「竹翠亭」
2 水	友引 戌の日		
3 木	先負 節分	節分厄除祈禱会 星祭開運御札祈禱会 想耕茶会 [福豆茶席]	
4 金	仏滅 立春 東風解凍		
5 土	大安	縁日 大隨求明王 露 干支成満巡り	
6 日	赤口	祥月忌合同供養会 (靈・圓・佐・遮・永経・永納)	
7 月	先勝	13世祥月 休 普門園	
8 火	友引	縁日 大日如来	
9 水	先負 黄鶯覗院	きもの装い [遊翠の心]	
10 木	仏滅	茶の古典を読む [遊翠の心] 阿息観	
11 金	大安 建国記念の日		
12 土	赤口	祥月忌合同供養会(圓)	
13 日	先勝	縁日 虚空蔵菩薩 露 干支成満巡り	
14 月	友引 戌の日 魚上氷	休 普門園	
15 火	先負	縁日 阿弥陀如来 写経 [遊翠の心]	

16 水
仏滅
八事夢講座
きもの装い [遊翠の心]

17 木
大安
和文化体験いけばな

18 金
赤口
縁日 観世音菩薩
水墨画 [遊翠の心]
仏典読み解き講座

19 土
先勝
雨水
土脉潤起
休 普門園

20 日
友引
阿息観
休 普門園

21 月
先負
縁日 弘法大師 露
TERA-YOGA
写経写仏はじめて講座
初心者のためのお茶席体験

22 火
仏滅
阿息観 [遊翠の心]

23 水
大安
天皇誕生日

24 木
赤口
震始蠶
縁日 地蔵菩薩

25 金
先勝
休 普門園

26 土
友引
戌の日
14世祥月
安産合同祈禱会
休 普門園

27 日
先負
休 普門園

28 月
仏滅
縁日 不動明王
休 普門園

定期購読のご案内
発行毎にお送り致します。(購読・送料無料)
お申込みは公式サイト・電話・来寺にて。



予定が変更になる場合があります。随時、公式サイトにてお知らせ致します。

講座 | 緑文字 詳細確認・予約は 凡例
公式サイト利用が便利です

靈=靈龕堂 佐=佐羅陀淨苑 遮=遮那奏苑 圓=圓照堂
永經=永代祠堂 永納=永代納骨 休 普門園 =普門園休園日 [竹翠亭含]